

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、《香川県専修学校各種学校連合会》が実施した令和6年度「専修学校の国際化推進事業」の成果物です。

2024 年度「専修学校の国際化推進事業」

海外活動報告

(ベトナム)

タイ・ラオスを含むインドシナエリア

1 回目

●訪問日程

2024 年 10 月 20 日(日)～10 月 27 日(日)

●訪問地

ベトナム(ハノイ・ハイフォン・ダナン・フエ・ダラット)

2 回目

●訪問日程

2025 年 1 月 11 日(日)～1 月 21 日(火)

●訪問地

ベトナム(ハノイ)

タイ(コンケン)

ラオス(ビエンチャン)

3 回目

●訪問日程

2025 年 2 月 8 日(土)～2 月 16 日(日)

●訪問地

ベトナム(クアンチ省・クオンビン省エリア

教育行政・高校内説明会・高校代表訪問)

ハノイ市内 日本語教育機関 留学説明会

ハイフォン市 短期大学 留学説明会)

一般社団法人

香川県専修学校各種学校連合会

2024 年度事業 ベトナム（タイ・ラオスを含むインドネシナ エリア）

活動概況

1. ～経緯と背景～

平成 30 年度以来、香川県の専修学校国際化事業に尽力いただいていた香川県が 10 年来医療・衛生面、土木・農業面で友好交流を続けてきたベトナム・ハイフオン市と都市間交流協定を締結。（8 月 29 日両市の関係構築に尽力した大平会長も調印式に出席）

また、この前日にはハノイ市ハノイ工科大学と香川県と経済団体（香川県商工会連合会）の海外人材の受入推進組織である香川県外国人材受入促進協議会（会長：商工会連合会 会長）が高度人材の育成・受け入れに関する調印を行った。

2. ～2024 年専修学校の国際化事業のコンセプト～

- ①平成 30 年からの国際化・留学生受け入れ事業の延長線として、ベトナム国内の教育機関との関係構築・関係強化による香川留学の魅力発信・意欲の醸成を図る。

また、ベトナム国内の大学・短期大学にはインドシナ諸国（タイ・カンボジア・ラオスからの留学生受入も多く、ベトナム周辺国にもアプローチする。

- ②昨年までの事業活動により、これらの国は、留学だけではなく大学生のインターンシップニーズが高く、香川県の人材不足の背景から、専門学校生の人材供給の別チャンネルとして、海外大学と企業を繋ぐパイプ役として、日本語教育や日本文化・ビジネスマナー教育の面で日本の専門学校教育を提供。インターン終了後は日本で専門分野について学ぶ留学の道も構築していく。

3. ～2024 年度活動の主な成果～

- ①教育機関提携

ベトナムの教育行政・労働行政、特に高等学校とのパイプを持つ日本語教育機関 1 社と提携・調印。

- ②説明会（留学説明会）

ベトナム（大学 1 校・短期大学 1 校・日本語教育機関 1 校 高校 5 校）
ラオス（大学 2 校）

- ③インターンシップ受入連携先のヒアリング

観光立県である香川県ではコロナ禍後のインバウンド需要が急速に回復、受入れのニーズ把握として、すでに外国人材受入れ実績のある宿泊業 1 社と大学訪問、既に来春よりタイ（1 大学）・ベトナム（1 大学）よりインターンシップ生が来日。半年～1 年のインターンが開始される。

香川インターンの目的は単に労働力不足を補うことではなく、日本企業文化、日本文化、何より日本語のレベルアップをすることの目的について、次年度以降は専修学校としての支援を行う体制を構築していく。

4. ～今後～

2025年2月香川県知事、高松商工会議所会頭(香川県外国人材受入促進協議会会長)がベトナム大使館、ファム・クアン・ヒエウ特命全権大使と面談

大平会長も同席し、外国人材の教育・受入れ状況についてプレゼンテーション
留学生比率がベトナム出身学生が最も高いこと、専門学校生を含む高度人材の受け入れ計画について高く評価された。

ベトナムはインドシナ周辺国への影響力も大きく、大学をはじめとする教育機関の紹介をはじめとして、ご協力をいただける。

香川県専各連としての国際化事業の目的である、「香川で学び、香川で暮らす」を継続的な関係維持、関係発展活動を今後も計画していく。

1 回目

訪問日 2024 年 10 月 21 日

① フォンドン大学 (ハノイ市)

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 国際部 部長 バン氏
日本語学科長 ビン先生

【所感】

- ・開学 30 周年、開学以来の穴吹カレッジとの提携校
留学実績もあり、卒業後香川県での定着者もいる。
専門学校生の研修訪問など学生間交流も継続されている。
- ・香川インターンシップの提案と実績のヒアリング
1 月の香川企業の訪問について打合せ



訪問日 2024 年 10 月 22 日

② バックゲ短期大学 (ハイフォン市) (香川県専各連との提携校)

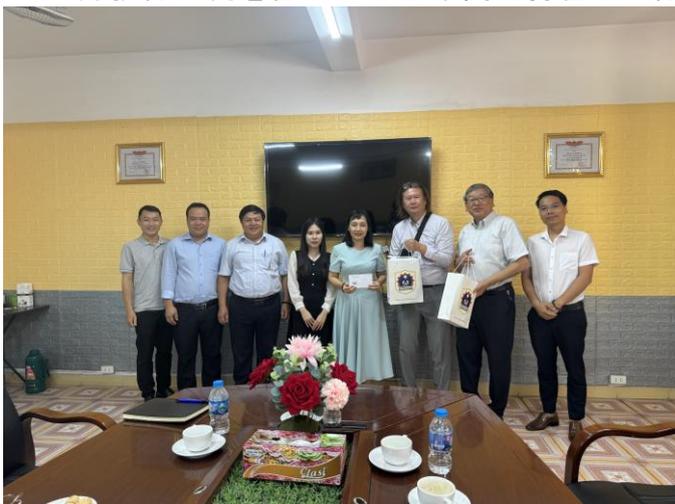
訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史

通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 フェン副校長

【所感】

- ・ベトナム北部を襲った台風被害への見舞い
- ・自動車を学ぶ学生の日本への研修（2週間）の提案
- ・11月教育交流を目的とした来高の打合せ（副校長はじめ5名）



③ハイフォン市立技術短期大学（ハイフォン市）（香川県専各連との提携校）

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史

通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 テュアン副校長

【所感】

- ・ベトナム北部を襲った台風被害への見舞い
- ・ハイフォン市立工業短期大学から公立短大3校が合併
新校舎に移転
2025年度からは設備もリニューアルされ入学希望者も増

④ハイフォン市立医療短期大学（ハイフォン市）（香川県専各連との提携校）

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局

/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 副校長

【所感】

- ・ベトナム北部を襲った台風被害への見舞い
- ・日本側の介護福祉士に関する法律の変更の進捗を見て留学スキームを練り直す。



2024年10月23日

⑤らくらく日本語（ダナン市）

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 アイン副社長

【所感】

- ・高松留学の実績あり。
- ・ベトナム中部からのインターンニーズについてヒアリング

⑥ダナン外国語大学（ダナン市）

訪問者 穴吹エンタープライズ(株) 代表取締役 三村 和馬
穴吹エンタープライズ(株) 人事総務課長 藤川 陽子
香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜

香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 ロン副学長
 ニューイ日本語学科長 ほか

【所感】

- ・香川留学の実績あり
- ・三村社長より香川へのインターン受け入れプランの説明
- ・来年度より受け入れの方向で合意



2024年10月24日

⑦フェ外国語大学（フェ市）

訪問者 穴吹エンタープライズ(株) 代表取締役 三村 和馬
 穴吹エンタープライズ(株) 人事総務課長 藤川 陽子
 香川県専修学校各種学校連合会 会長
 /穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
 /穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 又一国際部長
 チャー日本語学科長 ほか

【所感】

- ・香川留学の実績あり
- ・三村社長より香川へのインターン受け入れプランの説明
- ・来年度より受け入れの方向で合意



⑧フエ師範大学（フエ市）

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 会長
 /穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
 /穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史

通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 ビン日本語学科長 ほか

【所感】

- ・新学期に向けフエ市の短大統合中
- ・体制が整ったのちに引き続き介護留学生のスキームについて検討する。

2024年10月25日

⑨ダラットヤーシン大学（ダラット市）

訪問者 穴吹エンタープライズ(株) 代表取締役 三村 和馬
 穴吹エンタープライズ(株) 人事総務課長 藤川 陽子
 香川県専修学校各種学校連合会 会長
 /穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
 /穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史

通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 トン副外国語学部長
 日本語学科担当 ハー先生 ほか

【所感】

- ・ベトナム財閥系私立大学
- ・三村社長より香川へのインターン受け入れプランの説明
- ・日本語学科の卒業要件がN3
- ・日本へのインターンの実績はあるが、レセプションなどを含めた宿泊業全般への対応が難しい。

⑩国立ダラット大学（ダラット市）

訪問者 穴吹エンタープライズ(株) 代表取締役 三村 和馬
穴吹エンタープライズ(株) 人事総務課長 藤川 陽子
香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 ルエン国際学部長副外国語学部長

【所感】

- ・ 日本企業の高度人材としての就職説明会は実施している。
- ・ 三村社長より香川へのインターン受け入れプランの説明

2 回目

訪問日 2025 年 1 月 12 日
①A&A (日本語教育と留学送り出し機関)

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
対応者 フック社長

【所感】

- ・ 2 月の高校訪問と高校説明会の打合せ
- ・ クアンチ省・クオンビン省の高校 10 校に留学に関する意識調査
1200 名の回答あり、うち留学先として日本を希望するのは 80 名

訪問日 2025 年 1 月 13 日
②フンドン大学 (ハノイ市)

訪問者 穴吹エンタープライズ(株) 代表取締役 三村 和馬
穴吹エンタープライズ(株) 人事総務課長 藤川 陽子
香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

対応者 学長
国際部 部長 バン氏
日本語学科長 ビン先生

【所感】

- ・ 来年度以降に穴吹エンタープライズにインターンシップ受け入れすることで合意



訪問日 2025年1月15日

③タイ国立コンケン大学（コンケン市）

訪問者 穴吹エンタープライズ(株) 代表取締役 三村 和馬
穴吹エンタープライズ(株) 人事総務課長 藤川 陽子
香川県専修学校各種学校連合会 会長
/穴吹カレッジグループ 専務理事 大平 康喜
香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
コーディネーター 日本文化学科 篠原先生

面談者 日本文化学科 学科長ほか
学生 5名

【所感】

- ・4月以降のインターン受入れすることで合意
- ・インターン希望の学生5名にヒアリング
長期の異国での生活についての不安点
家族の理解度
日本でさらに学びたいことなど



県専各グローバル事業（ラオス）

ラオス出張（2025年1月15日～1月17日）

I ラオス 訪問者：香川県専各連会長 大平 康喜、香川県専各連事務局 亀本 浩史、実地委員 清水 泰

④ ラオス日本センター（LJI）

- 【日時】 2025年1月16日(木) 13:30～
 【場所】 施設内会議室
 【面談者】 所長 ボーンケオ チャンタマリー氏、チーフアドバイザー 米山 芳春氏
 【内容】 日本留学について意見交換
 (米山氏)
 ・LJIについて
 ・ピエンチャンに限り私立学校がある
 パッケオ学園 小学校から高校まで教育(日本人経営)
 卒業生は留学している
 兵庫県立大学との関係がある
 ・日本語教育事業 (JFが支援)
 今まで10,000人が受講
 社会人向け：基礎中級N3程度 夜間講座
 8段階 4・5ヶ月/段階 N4合格厳しい
 ・相互理解
 10・11月 留学フェア実施(参加費：1,500ドル) 2023年実績：467名参加
 私費留学は少ない、中国はハードルが低く日本より留学しやすい
 日本語、観光、IT、農業など就職人材

【所感】 香川県デザイン協会(会長：高松商工会議所会頭 顧問：香川県知事)の
 JICA事業当時の副所長であった米山氏がLJIに復帰
 これまで以上の関係発展が期待できる。
 大学も含め日本語教員不足があり、希望者は多い者のクラス運営が難しい部分がある。



⑤ ラオス国立大学文学部日本語学科 留学説明会

- 【日時】 2025年1月16日(木) 15:00～
 【場所】 日本語学科1 階大教室
 【担当者】 副学科長 カムボーン先生
 【参加教員】 副学科長 プーカム先生、学科長 マライカム先生
 【参加学生数】 日本語学科1～4年生 58名
 【内容】 (大平会長から)
 挨拶実施
 (亀本から)
 香川県に留学するための説明の実施
 (亀本・清水)
 学生からの質疑応答の実施

【所感】 コロナ禍後、日本語学科の入学希望者は増加傾向
 かつては日本のサブカルチャーに関心がある
 学生が多かったが、最近ではアルバイトを経験しながら
 学んでいる学生も多く留学を考えた場合でも
 しっかりと将来設計をしている学生が増えてきた。



⑥ 健康科学大学看護学部

- 【日時】 2025年1月17日(金) 10:00～
 【場所】 学校内1 階大教室
 【担当教員】 ウライヴァンスンタラー先生、ピエンラコンチャツルンサワット先生
 【参加学生数】 看護学部学生48名
 【内容】 香川県留学説明会等開催協定調印式 (MOA) 後、初訪問
 (清水から)
 挨拶実施
 (亀本から)
 香川県に留学するための説明の実施
 (亀本・清水)
 学生からの質疑応答の実施

【所感】 参加の学生たちからも積極的に具体的に質問がされた。
 介護留学生としての奨学金などの経済的支援が前提となるが
 問題は現地での日本語の習得。LJIなどとの連携を検討していきたい。





訪問日 2025年1月20日
⑦日越大学 (ハノイ国家大学グループ7番目 JICAと協同設立)

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
対応者 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト
プログラム調整 小池氏
産学連携担当 根岸氏

【所感】

- ・2024年度の卒業生(6月)が学部生としての初めての卒業生
- ・ベトナムの他大学に比べるとインターンシップの考え方が進んでいない(取得単位の置き換えなど)
- ・日本語学部については直接ベトナム国内の日系企業への希望が多いが、今後学生も傾向にあり、学内でのインターンシップの仕組み作りの必要性を感じている。

⑧ハノイ工科大学

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史

説明会参加者 20名

【内容】香川県の生活、在県外国人の状況、日本の労働環境について
経済界、産業界からの期待について



3 回目

訪問日

2025 年 2 月 9 日

① クアンチ省 教育訓練局 (クアンチ省)

訪問者

香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史

通訳

ホアン氏

コーディネータ

A&A フック社長

対応者

クアンチ省教育訓練局長
クアンチ省人民委員会書記
クアンチ高校 (地域一番校) 校長

【所感】

- ・ベトナムの教育制度では高校・高等訓練校・短期大学は教育訓練局の管轄
- ・ベトナム中部での留学意識の涵養活動について理解を求める
ベトナム中部での留学意識についてのヒアリング
- ・日本留学のメリットについて説明



訪問日

2025 年 2 月 10 日

② Truong THPT Vinh Dinh 高校 (クアンチ省) 留学説明

参加者

400 名



③ ChuVanAn HighSchool 高校 (クアンチ省) 校長訪問

④ GioLinh HighSchool 高校訪問 (クアンチ省)校長訪問



⑤ クアンチ寄宿高校 (クアンチ省)留学説明会

参加者 200名



訪問日 2025年2月11日

⑥ NgoQuyen HighSchool 高校(クオンビン省)留学説明会

参加者 400名

⑦ Le Quy Don HighSchool 高校(クオンビン省)留学説明会

参加者 300名



⑧ Hung Vuong 高校(クオンビン省)3年団先生への留学説明会

参加者 17名

訪問日 2025年2月12日

⑨ ベトナム林業人材センター (ハノイ市) 留学説明会実施

訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

説明会参加 25名

【所感】

- ・昨年度事業で日本語教材研究に協力いただいた会社
- ・日本留学希望は4月生で95名、その他特定技能などで日本希望
- ・日本留学のメリットについて説明



訪問日 2025年2月13日

- ⑩ ハイフォンバックゲ短期大学（ハイフォン市）留学説明会実施
訪問者 香川県専修学校各種学校連合会 事務局
/穴吹カレッジグループ 国際部 亀本 浩史
通訳・コーディネータ ホアン氏

【所感】

- ・ 11月に教育交流のため来高
今後日本留学の送り出しを見据えて日本語学科の設置が
ハイフォン市より認可された。
- ・ 自動車整備学科と機械整備学科の学生を対象に留学説明を実施
参加 20名

